コーディング規約

命名規則

コーディングスタイル

禁止項目

ファイル構成

ファイル名

・publicクラスはそのクラス名の一ファイルにする。

・publicなクラス名はファイル名と同じでなければならない。

命名規則

共通

・クラス名、変数名、メソッド名が複数の単語で構成されている場合

二つ目以降の単語の先頭は大文字にする。

・クラス名、メソッド名をつける際は以下の英語の対称性に気を付ける

　Add/Remove

Insert/Delete

Get/Set

Begin/End

Send/Receive

Get/Release

Put/Get

Open/Close

Next/Previous

クラス名

・クラス名の先頭は大文字にする。

・クラス名には名詞を利用する。

・例外クラス名にはサフィックスとしてExceptionをつける。

・抽象クラス名には適当な名前がない場合はプレフィックスとしてAbstractをつける。

変数名

・変数名の先頭は小文字にする。

・役割を読み取れない無意味な名前は避ける。

・省略表記は出来る限り利用しないが、変数のスコープが狭い場合は

型名を略したものを使ってもよい。

・略語は一般的に広まっているものは利用可能だが一文字目以外はすべて小文字にし、

　変数の先頭には利用しない。

・boolean型以外の変数名には名詞を利用する。

・boolean型の変数名にはisやcanなど適切なプレフィックスをつけ、

可能ならばcanはisXxxableで表せないか検討する。

・boolean型の変数には否定的な意味は持たせない。

・isの後ろには形容詞、canの後ろには動詞、hasの後ろには過去分詞を利用する。

　ループ変数名

　・ループ変数名は基本的に一文字とする。

　・iやjなど慣用的なものを利用する。

定数名

・定数はすべて大文字とし、区切りにはアンダーバーを利用する。

メソッド名

・メソッド名の先頭は小文字にする。

・アクセッサにはsetやgetなど適切なプレフィックスをつける。

・何らかの作用を伴うメソッドは動詞にする。

・コンバータメソッドはプレフィックスとしてtoを利用する。

コーディングスタイル

インデント

・半角スペース4文字分としタブキーを利用する。

中カッコ

・制御文、メソッド名、クラス名などの定義に利用する中カッコは

半角スペースを一つ挟んでから改行せずに始める。

小カッコ

・制御文の小カッコはキーワードとの間に半角スペースを挟む。

・メソッドの小カッコとメソッド名の間はスペースを空けない。

引数

・引数は複数ある場合は区切りのカンマの後に半角スペースを一つ挟む。

演算子

・演算子の前後には不自然でない限り半角スペースを最低一つ挟む。

コメント

・publicクラス、メソッド、フィールドには必ず/\*\*…\*/コメントをつける。

・コメントが複数行にわたる場合、最初に短い一文で内容を要約する。

・/\*\*…\*/コメント中、@から始まる以下のキーワードを可能なら利用する。

　@author authorName

@param paramName description

@return description of return value

@exception exceptionName description

@see className#methodName

改行

・一行は最大80桁とする。

・80桁を超える行は以下の方法で改行する。

　カンマで改行

　ローカル変数の利用

　優先度の低い演算子の前で改行

　Extends/Implements/Throws節で改行

その他

・Importでは出来る限り\*を利用しないが、同じパッケージから3つ以上のクラスを

　インポートする場合\*を利用してもよい。

・抽象クラスはなるべく用いず、インターフェイスを多用する。

・インスタンス変数は極力publicを用いず打倒はアクセッサを設ける。

・もしインスタンス変数が作成された後決して変化しないならfinalを積極的に用いる。

・<、<=を積極的に用い、>、>=はなるべく用いない。

禁止項目

・ハンガリアン記法は利用しない。

・オブジェクトの内部状態を表す変数をpublicにしない。

・ローカル変数の使い回しをしない。

・自分にしか分からないコードを書かない。